

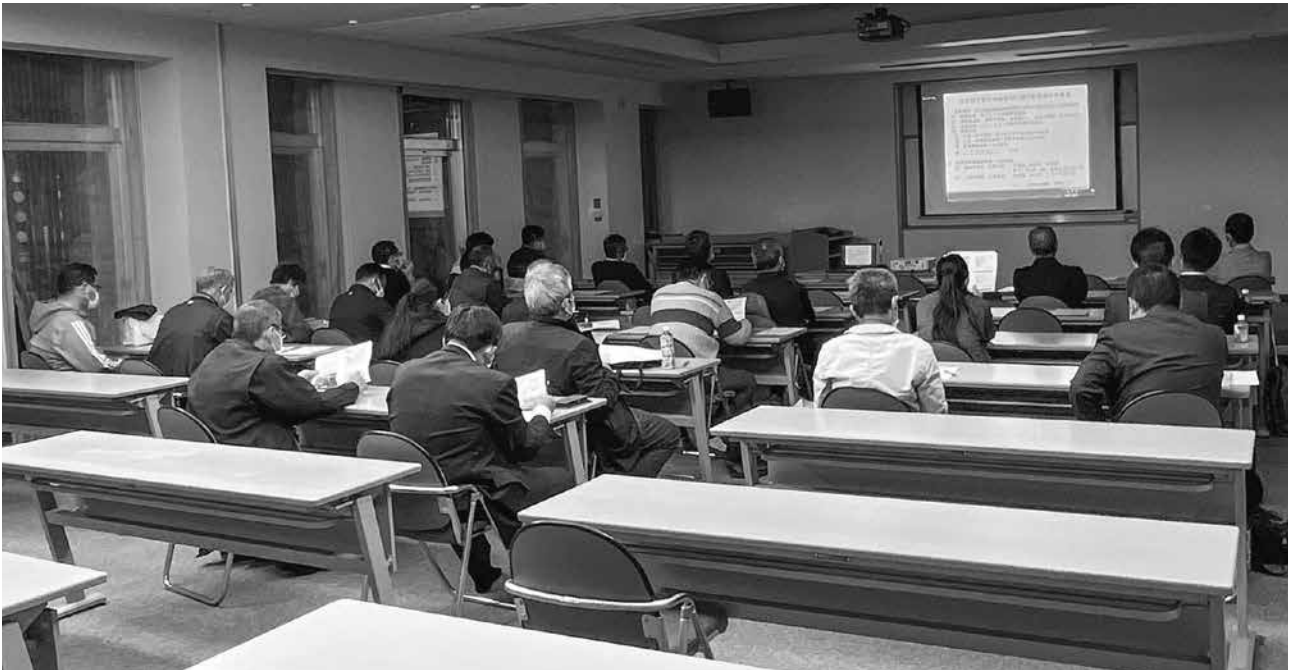
山梨県スポーツ指導者協議会

会報

第 33 号 (令和 5 年 3 月 発刊)

目次

会長あいさつ	1
五人からの挑戦	2
部活動改革について	3
研修会の報告	4
甲府支部活動報告	5
日本スポーツ協会公認 スポーツ指導者表彰	6～7
事業報告・事業計画	8



令和 4 年度山梨県スポーツ指導者協議会 特別研修会 (R4. 11. 28)

地域の期待を担う

公認指導者の役割



会長 渡邊 悟

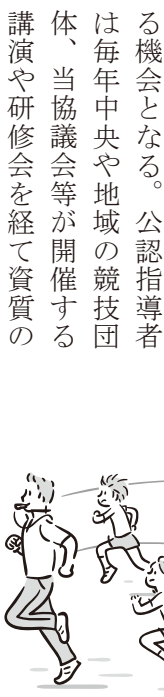
(陸上競技コーチ 4)

今日的課題として中学校の部活動の「地域移行」がある。文科省から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」が示され「学校と地域が協働・融合した」部活動の具体的な実現方策とスケジュールが明示された。特に令和五年度より「休日の部活動の段階的な地域移行」が進められる重要な教育改革である。

向上に努めている。この時機に地域において関係機関等の協力関係を先導的に築き、地域の期待に応えることが重要である。

「地域移行」が進むには指導者の確保が急務となる。資格を持つ公認指導者にとって活躍する場を拡げる機会となる。公認指導者は毎年中央や地域の競技団体、当協議会等が開催する講演や研修会を経て資質の

「希望を抱きスポーツを日々楽しむ少年たちの心」を育むことこそ公認指導者としての使命である。



五人からの挑戦



山梨学院高校ソフトボール部監督

渡辺 努

(ソフトボールコーチ4)

私が山梨学院高校に着任したのは平成二十九年。そしてその年の六月からソフトボール部の監督という立場で指導することになった。

一年目の新人部員は五人。練習試合や実戦練習ができず、選手のモチベーションを保つことに苦労した。私自身は前任校で野球・ソフトボール部の監督を二十八年間やり、特にソフトボールの監督としては十五回の全国制覇を経験していたこともあり、様々な面で恵まれた中で活動できていた。しかし私が山梨に来た理由の一つが新たな挑戦であったので逆に毎日新

鮮な気持ちで指導を行うことができた。特に気を付けたのは前任校の話は極力しないこと。(最初から全国制覇を意識して入部してくる生徒と楽しみを求めて入部する生徒では意識レベルが違う) 毎日生徒全員とコミュニケーションを取りその選手が達成可能な技術的アドバイスをしてあげること。幸いにも私にとって山梨での一期生五人は実に素直に頑張り、その後の「何事にも明るく笑顔で挑戦するプレースタイル」の土台を作ってくれた。二年目に

八人の新入部員が加わり、試合ができる喜びを感じた選手達は実力以上の力を発揮し、関東大会三位、一・二年生だけでインターハイ出場を果たす。三年年揃った三年目のインターハイでは山梨県初の全国三位。(四年目は新型コロナウイルスにより全国大会が全て中止) 五年目(令和三年)のインターハイで県勢初優勝。(天候により四校同時優勝) そして今年度(令和四年)は全国選抜・インターハイともに全国準優勝という結果が収められた。こうしてみると順風満帆に結果がついてきたようにみえるが、やはりたくさんの方の協力や応援があり、そこに運や勢いが加わって初めて結果がついてくるものだと思う。どうしたら強いチームが作れるかという質問をよく受けるが、今も述べたように自身のお陰であることは言うまでもない。たゞもし自身の考えを述べるなら、

指導者は環境面や練習内容・計画性・情熱等も大切だが、私はそれより選手やチームの未来を予想する能力と修正能力が必要だと感じている。そして刻々と変化する時代の中で臨機応変に対応する能力が大切な

ではないかと思う。常に半年後、一年後、二年後のチームや選手をイメージし、試行錯誤しながら毎日生徒たちにとって何がベストなのか考えながら指導しているのが現実である。



部活動改革について



山梨県教育庁保健体育課

渡辺 健太郎

文部科学省等は、令和二年九月に「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を示し、令和五年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行していくこととした。また、令和四年十二月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を発出し、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備し、地域の実情に応じた生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体格差を解消することが重要であるとした。

【改革は生徒の幸せを最優先に】

生徒や保護者の視点では、部活動にはさまざまなニーズがある。全国大会を目指す競技力向上を目指す生徒もいれば、体力づくりや楽しい時間を過ごすことを目的にする生徒もいる。しかしながら、現在の部活動の現状として、専門的な指導が可能な顧問が必ずしも配置されていないこと、生徒数の減少により単独でチームが組めない状況が増えていること、楽しく活動したい、学習も頑張りたいと思っても休日の活動時間が長い実態があるなど、個々のニーズに必ずしも応

えることができない状況にある。

県教育委員会としては、部活動改革の方向性を、まずは生徒の幸せを最優先に、生徒のスポーツ・文化活動をよりよいものとすることを目指す中で、教員の働き方改革が進むような制度設計をしていく必要がある。

【部活動に代わる地域スポーツ活動とは】

資料1は、休日に学校で部活動が実施されなくなった際の「地域スポーツ活動」の全体像となる。生徒はこの表に示されたカテゴリーの中からニーズに応じた活動を選択することになる。

【最後に】

令和五年度より、円滑な地域移行へ向けた環境整備を推進する「改革推進期間」が始まる。その中で、生徒や保護者、教員など、多く

の関係者の意見を参考にし、少子化の中でも、将来にわたり本県の子供たちがスポーツ・文化活動に継続し、整備を進めていきたい。

て親しむ機会の確保を最優先に考え、中学生の新しいスポーツ・文化活動の環境

【資料1】休日に部活動が実施されなくなった場合の、中学生の運動機会		
部活動の種類（運営主体）	活動の目的	予想されるメリット・デメリット
民間のクラブチーム (ヴァンフォーレなど)	◇選手コース ◇トップチーム	【メリット】 プロ指導による専門的指導の下での競技力向上 【デメリット】 ・経済的負担大 ・時間的負担大 ・地域間格差大
	◇普及クラス	運動機会の確保
地域のクラブチーム (スポ少、市町村協会、NPO、町道場など)	競技力向上 >運動機会確保	【メリット】 地域での活動のため移動等の負担が比較的少ない 【デメリット】 ニーズに応える活動がない可能性
競技団体主催の活動	◇国体強化 ◇年代別強化	【メリット】 学校部活動から独立した強化活動が可能 【デメリット】 移手段の確保が困難
	◇普及	人材発掘 >競技力向上 【メリット】 中体連競技（種目）以外の普及が可能 【デメリット】 移手段の確保が困難
学校以外の団体が運営し教育委員会が運営方針の決定等に関わる地域スポーツ活動 市町村教育委員会を中心に、運営主体（総合型地域SC、スポ少、市町村協会等）と連携した制度設計、兼職兼業による教員の指導可	運動機会確保 >競技力向上	南アルプス市で実施の国モデル事業等により検証中

研修会の報告

「令和四年度第二回 スポーツ指導者 研修会に参加して」

南巨摩支部

上 田 修

(ソフトボールコーチ)



我々所属のソフトボール競技には、チームに公認指導者がいないと試合に参加できないため、各チームに複数の指導者を登録している。

指導者は競技者育成指導と共に、大会参加目的で、登録している事は否めないが、登録制度が始まって以来、審判への抗議や暴言が

激減した事は、大会運営側は喜ばしい事である。

研修会では中村和彦先生の「健やかな日々を送るために—遊び・運動・スポーツの大切さ」と、石川聡先生の「スポーツにおけるコミュニケーションの大切さ」と題し、講演が行われた。

先生方の講話に指導者(人間)として、大変興味深い講話に今後の人生、現状の諸課題を見つめ、向上心を高められる講話であり、今後スポーツを楽しむこと等を発信し、係わっていききたい。



「第二回スポーツ 指導者研修会に 参加して」

南都留支部

渡 邊 昭 一

(水泳コーチ2マスター)
(スポーツプログラマー)



研修会では、お二人の先生から講義をいただいた。中村和彦先生からは、子ども達が抱えている問題として、学びに向かう力、人を慈しむ力の低下に加え、身体活動量が減少していることなど、三十年前の生活習慣と現代との比較から、特に「運動・あそび」の重要性について学んだ。

また、石川聡先生からは、昨今のスポーツ指導者からの体罰やパワハラについての調査から、指導者の年代が上がるほど体罰が増加す

る傾向があり、コミュニケーションの重要性とコーチングスキルの必要性について再認識することができた。大変有意義な研修であったので、今後開催される研修へも大いに期待が膨らむとともに、積極的に参加し自己研鑽の機会としたい。



「特別研修会に 参加して」

笛吹支部

荒 川 篤 士

(ソフトテニスコーチ)



今回の研修は、案内が届いた時から中学生にとって

週休二日制実施以来の歴史的な制度変更となるとの思いで申込みさせて頂いた。スポーツ庁が策定した平成三十年「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」から令和二年の文部科学省通知、地域移行に向けた実践研究事業の紹介等経緯が分かりやすく、担当部局の皆様が試行錯誤している大変な苦勞が分かった。

参加した指導者の皆様も一生懸命で質問や活発な意見交換ができ、大変有意義な研修だったが、この制度に関わる全ての者が「子どもたちの利益のために何ができるか」を根底に刻み取り組むことがこの制度を成功させるために重要なことだと思つた。



甲府支部 活動報告

甲府支部
事務局次長 荻野昭彦

甲府支部では、毎年、五月・七月・十一月・二月に理事会を計画してきた。ここ数年は、コロナ感染症の影響を受けて開催できないこともあったが、毎年四回、支部長中心に十名程度の役員が集まり、事業計画づくり・予算に関する協議・役員人事や講習会や研修会の開催などについて協議をしてきている。

五月と二月の理事会は、事業計画・予算決算案・役員人事を中心に協議をしている。そして、毎年六月頃、前年度の事業・決算報告、当該年度の事業・予算案、そして役員構成を整理し、七月と十一月の理事会では、令和二年度まで開催していた「甲府支部親睦交流グラウンドゴルフ大会」の準備や反省に多くの時間を当てていた。

また、理事会以外にも事務局中心に「グラウンドゴルフ大会」の細かな準備や運営なども行ってきた。

令和三年・四年は、「部活動の地域移行」という地域スポーツに関する大きな課題が話題になってきたことから、**図1**や**図2**などの資料を用い、甲府市における

改革の見通しについて情報の共有を図ってきた。本改革が甲府市においてどのように進められるかは不透明であるが、甲府支部としては全面的に協力しようということになっている。

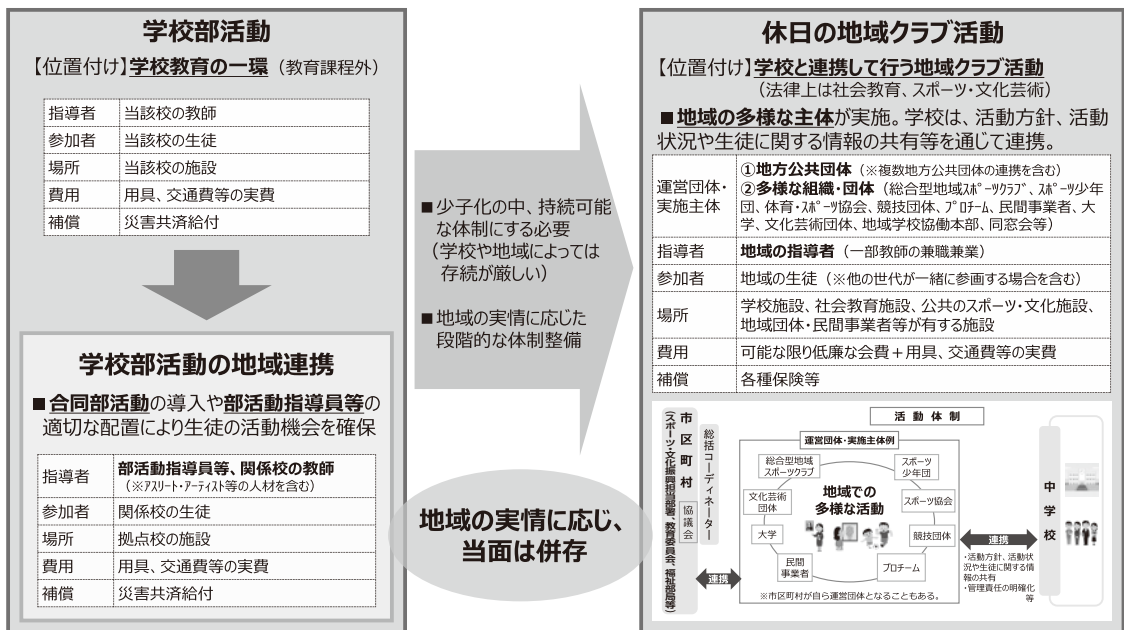
図1

【最新情報】

スポーツ庁は『新たな「地域クラブ」について』学校部活動の維持が困難となる前に、**学校と地域との連携・協働**により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を「ガイドライン」の中で示した。

図2

学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像（イメージ）



令和4年度

「山梨県スポーツ指導者協議会表彰」

功労表彰



中島 由光

(ソフトボールコーチ1・アシスタントマネージャー)



古屋 純子

(バレーボールコーチ1)



早河 明

(スポーツプログラマー)

令和4年度

「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰」

永年表彰



中島 由光

(ソフトボールコーチ1・アシスタントマネージャー)



古屋 純子

(バレーボールコーチ1)

山梨県スポーツ指導者協議会

表彰を受賞して

笛吹支部

早河

明

(スポーツプログラマー)

この度、令和四年度公認スポーツ指導者表彰を受賞させていただき、身に余る光栄とともに、ご推薦いただいた笛吹支部並びに県スポーツ指導者協議会各位に心より厚く御礼申し上げます。

私は、山梨県の助成制度を活用し平成十二・十三年度の二年間の講習でスポーツプログラマーの資格を取得した。受講して感じたことは、専門知識や一般教養を身に付けることでスポーツの楽しさや技術が伝えやすくなったと感じた。

その後、四年間笛吹支部の事務局に携わり村松支部長と支部の運営や甲府支部と共同で開催した指導者研修会は、かけがえのない「人脈」を得、私の財産となっている。

今後、中学校部活動の地域移行が始まるが、地域振興の中心として、中学生の体力・技術向上のため、専門知識を有したスポーツ指導者は活躍の場が増えてくると思われる。

最後に、今後の山梨県スポーツ指導者協議会のますますの発展と有資格者各位のご活躍に期待するとともに、私自身も地域スポーツ振興のために邁進したいと思う。



日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者表彰を受賞して

チームと学ぶ

笛吹支部 中島 由光

この度は、大変素晴らしい賞を頂き誠にありがとうございます。山梨県スポーツ指導者協議会、笛吹支部の尽力に心より感謝申し上げます。

私もスポーツが好きでチームに入って野球をしていました。ある時友達が国民体育大会があるけれど・・・ソフトボールの審判がないようです。一緒に受けに行きませんか、これがソフトボール協会との初めての話でした。仲間と相談して野球をやめてソフトボールをすることにしました。

講習会に出席して、第一種、第二種、第三種があることを知りました。学科や実技、すべてやり審判にも出ていました。国体、全国大会、全国教員大会、インターハイ、全国壮年大会、関東大会等、大きな大会でも審判をやりました。かいじ国体が無事に終わったことを安堵に思います。野球のかわりにソフトボール

(ソフトボールコーチ)
(アシスタントマネージャー)

チームを作ったので強くなりました。県大会にも出ました。当時は東八代郡(現笛吹市)石和町の体協に入りました。石和体協で目標をもって練習して行きましよう。投手、打者、守り、この練習に力を入れました。勝ったときは、チームも喜びました。このころ私に指導員も受けた方が良いと言われけることにしました。当時は公認C級指導員でした。ソフトボール協会に毎年チーム、審判・記録・指導員の登録をします。

チームも強くなって県代表として全国大会に、愛媛県、北海道、静岡県に行くことができました。チームでアイデアを出しながら県外の長野県上田大会に何年も参加しました。又、栃木県足利大会も何年も参加しました。スポーツは終わりがありません。楽しく、よるこび、夢いっぱい。山梨県スポーツ指導者協議会に恥じないよう努めます。

恥じないよう努めます。

Sports Safety Insurance Table with columns for age groups (children, adults, all ages), activity types, and insurance coverage details. Includes a 'Sports Safety Insurance' title and various insurance plan options.

令和4年度 山梨県スポーツ指導者協議会 事業報告

年	月日(曜日)	事業名	会場等
令和4年	4月9日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬武道館
	5月17日(火)	令和3年度会計監査	小瀬武道館第2会議室
	5月20日(金)	第1回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	5月25日(水)	第1回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月11日(土)	令和4年度総会及び第1回研修会	はくばく文化ホール
	7月15日(金)	第2回執行部会	小瀬武道館第2研修室
	7月20日(水)	第2回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	8月27日(土)	第2回研修会	勝山ふれあいセンター
	11月8日(火)	第3回執行部会	小瀬体育館会議室
	11月16日(水)	第3回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月23日(水・祝)	令和4年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	対面形態及びWEB形態
	11月28日(月)	特別研修会	対面形態及びWEB形態
令和5年	1月20日(金)	令和4年度全国スポーツ指導者連絡会議幹事会	小瀬武道館第2会議室
	1月21日(土)	第3回研修会	オンライン形態
	2月17日(金)	第4回執行部会	小瀬体育館会議室
	2月22日(水)	第4回理事会・専門部会	小瀬体育館研修室
	3月31日(金)	会報第33号発刊	

令和5年度 山梨県スポーツ指導者協議会 事業計画

年	月日(曜日)	事業名	会場等
令和5年	4月8日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬武道館
	5月19日(金)	第1回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	5月24日(水)	第1回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月24日(土)	令和5年度総会及び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	7月14日(金)	第2回執行部会	小瀬武道館第2研修室
	7月19日(水)	第2回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月9日(土)	第2回研修会	八代総合会館
	11月10日(金)	第3回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	11月15日(水)	第3回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月下旬	特別研修会	小瀬武道館
	未定	令和5年度全国スポーツ指導者連絡会議 幹事会・全体会	未定
	未定	令和5年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	未定
令和6年	1月20日(土)	第3回研修会	オンライン開催
	2月16日(金)	第4回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	2月21日(水)	第4回理事会・専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月下旬	会報第34号発刊	

発行元
山梨県スポーツ指導者協議会
(事務局)

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840
公益財団法人 山梨県スポーツ協会内
TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599

編集：広報普及部

会報は協議会の活動等を会員の皆様にお伝えするためのものです。スポーツ指導者に関係する情報がありませんら、事務局へ情報を提供してください。

